

令和 6 年度

全国学力・学習状況調査の
結果分析と今後の取組

令和 6 年 1 0 月
大紀町教育委員会

目 次

令和6年度 全国学力・学習状況調査の 結果分析と今後の取組について	1
七保小学校の結果分析と今後の取組について	2
大宮小学校の結果分析と今後の取組について	3
大紀小学校の結果分析と今後の取組について	4
錦小学校の結果分析と今後の取組について	5
大宮中学校の結果分析と今後の取組について	6
大紀中学校の結果分析と今後の取組について	7

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組について

令和6年10月
大紀町教育委員会

本年4月18日に「全国学力・学習状況調査」が、実施されました。小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に行われ、その結果が、7月末に文部科学省から公表されました。

大紀町教育委員会では、各校の代表者等で組織する大紀町学力向上推進委員会を設置し、町内の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析するとともに、教育施策の成果と課題を検証して、その改善を図っています。また、各校においても調査結果を受けて授業改善を進めるとともに、児童生徒の実態に応じた、実効性の高い教育活動を模索し、取り組んでいるところです。学力の定着と向上には、ご家庭ならびに地域の皆様の協力が不可欠です。各校の分析結果を「強み」「弱み」として表すとともに、改善に向けた方策や皆様方をお願いしたい事項をまとめましたので、ご協力くださいますようお願いいたします。

(1) 教科に関する調査結果から

①小学校について

これまで課題であった「思考力や判断力、表現力」を問われる問題について、改善が見られました。また、無回答が少ないことから、粘り強く取り組もうとする姿勢が伺えました。一方で、国語では主述関係が捉えられていないこと、算数では意味理解が不十分であること等に課題がありました。これからも、子どもたちが自ら見通しを持って学習に取り組めるよう、子どもたちの気づきや疑問を丁寧に捉え、子どもたち同士で協力し合いながら課題を解決していく授業を目指します。

②中学校について

基礎基本を問われる問題については正答率が高く、これまでの学習の積み重ねが成果となって表れていました。一方で、文章と図を結び付けて内容を解釈したり、筋道を立てて考えたことを説明したりする力に課題が見られました。今後も、子どもが自分の考えを持つように課題を工夫し、協働して問題を解決していく授業を目指します。

(2) 質問紙調査の結果から

小学校、中学校共に、学校の授業時間以外に家庭で学習する習慣が身に付いてきている様子が伺えました。本調査では、小学校では平日、中学校では学校が休みの日に学習する時間が長い児童生徒ほど、教科の正答率が高い傾向が見られました。今後も学校と家庭が連携し、子どもたちの学習習慣を確立できるように努めます。また、「自分には、よいところがある」等の自己肯定感に関する項目や、地域や社会に関わる活動について、肯定的な回答が多く見られました。今後も、家庭・地域・学校が一体となって、「褒める」「認める」「励ます」かわりを続けていくことで、子どもたちが安心して学ぶことができるように努めます。

七保小学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査結果から

① 国語科について

- 【強み】・人物像や物語の全体像を想像したり、表現の効果を考えたりすること
・目的や意図に応じ、日常生活の話題を決め、伝え合う内容を検討すること
- 【弱み】・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること
・文の中における主語と述語の関係を捉えること

② 算数科について

- 【強み】・除数が小数である場合の除法の計算をすること
・数量の関係を捉えて、□を用いた式に表すこと
- 【弱み】・速さの意味を理解し、道のりと時間との関係を捉えること
・計算で成り立つ性質を活用して、計算の仕方を説明したり、除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係を理解したりすること

(2) 質問紙調査の結果から

- 【強み】・話し合う活動を通じて、考えを深めたり、新たな考えに気付いたりする。
・学習内容で分かった点やよくわからなかった点を見直し、次につなげる。
・学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決める。
- 【弱み】・テレビゲーム、SNS、動画視聴に、2時間以上を使う児童がいる。
・平日、1日当たりの勉強時間が1時間に満たない児童が2割弱いる。

(3) 全体を通して

日頃、各学年で理由・根拠を大切に発言を聞き合ったり、条件に合わせて書いたり、本校独自の系統的な算数プリントを繰り返したりすることで基礎的な学力が身に付いています。調査結果は、全国平均や県平均をやや上回っており、質問紙調査に目を向けると、国語や算数が好きであり、課題解決のための取り組み方が定着し、学びに向かう力が高いことがわかります。

一方で、相手のわからなさを理解し、相手が必要とすることを伝える力は育ちつつありますが、十分ではありません。今後も小規模校の特性を活かして、一人ひとりの考えのよさ、わからなさを受け止め合い、理解を深める授業づくりに努めます。

(4) 家庭や地域へのお願い

本校では、学校教育目標「心やさしく 考え、動く ～自立と共生～」を掲げ、主体的に考え、判断し、行動する力（自立する力）、相手の立場に立って協働する力（共生する力）の育成に努めています。質問紙調査では、「自分にはよいところがある」「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりできる」「友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組む」「人の役に立つ人間になりたい」「地域や社会のために何かしてみたい」等の質問について、全児童が肯定的な評価でした。自己肯定感や、自立する力、共生する力が育まれているのは、家庭や地域のご理解、ご協力によるところが大きいと考えます。テレビゲーム・スマホ等の家庭ルールの徹底、家庭学習の充実を含め、今後とも、本校の教育活動へのご支援をお願いします。

大宮小学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査結果から

① 国語科について

【強み】・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討すること

- ・人物像を具体的に想像すること

【弱み】・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること

② 算数科について

【強み】・除数が小数である場合の除法の計算をすること

- ・直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解し、それを用いること

【弱み】・道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること

- ・球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すこと

(2) 質問紙調査の結果から

【強み】・規範意識や自己有用感が高い。

- ・授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに努力しながら課題の解決に取り組んでいる。

【弱み】・休日など学校が休みの日の学習時間が少ない。

- ・新聞をほとんど、または全く読んでいない割合が高い。

(3) 全体を通して

学習においては、どの学年も概ね落ち着いて授業に取り組む姿が見られ、国語の読み取りや計算の技能など、基礎的な学力が着実に身に付くよう粘り強く指導しているところです。さらに、学校全体では、相手意識と目的意識をもち、主体的に活動する子どもの育成をめざし、低学年から高学年まで、学校全体で授業改善に取り組んでいます。また、図書室に小学生新聞2紙を配備し、新聞を読み親しむ環境づくりに努めています。家庭学習についても、主体的に取り組む学びの一環として、各学年の発達段階に合わせながら、自主学習の活動を進めているところです。

(4) 家庭や地域へのお願い

家庭での生活習慣は安定しています。また、地域との繋がりが強いです。基本的な生活習慣の確立はすべての基盤になります。家庭・地域・学校みんなで子どもたちをほめて、認めて、支えていただきますよう引き続きよろしくお願いします。家庭学習や読書の時間や計画性については、個人差が見られるので、「家庭学習の手引き」も参考にいただき、家庭学習・読書の習慣化への取組をお願いします。子どもの成長には、学校・家庭・地域の連携が一番大切です。今後も子どもの成長を真ん中に置いた信頼関係と支援をお願いします。

大紀小学校の結果分析と今後の取組について

（１）教科に関する調査結果から

①国語科について

- 【強み】・漢字を正しく書くこと
 - ・目的に応じて相手に伝える内容を検討すること
- 【弱み】・人物の心情を描写からとらえること
 - ・読書の良さを日常に役立てること

②算数科について

- 【強み】・図形の特徴を捉え、体積の求め方を式に表すこと
 - ・表を読み取り、物事を判断すること
- 【弱み】・小数の割り算の特徴を理解すること
 - ・グラフを読み取り、言葉や式に表すこと

（２）質問紙調査の結果から

- 【強み】・自分には、良いところがあるという意識が強い。
 - ・夢や目標を持っている。
 - ・決まった時間に起床し、必ず朝食を食べる。
- 【弱み】・動画視聴が多く、家で読書をする等の活字とふれあう機会が少ない。
 - ・家庭での学習時間が少ない。

（３）全体を通して

既習事項を覚えていても、条件に合わせる等、「問われ方」によって正答できない傾向があります。基礎の定着をしっかりと行ったうえで適応問題や活用問題に取り組ませていく必要性を感じます。

子どもたちは、学習だけでなく、友だちとの関係や最高学年としての行動等も大切だと認識し、夢や目標に向かって頑張りたいという気持ちを強く持っています。今後は授業だけでなく、家庭学習や自主学習への取組み等、主体性を持って学ぶ力をさらに育成していきます。また、本をたくさん読むことで思考力、判断力、想像力、文章力、語彙力、コミュニケーション能力の向上に努めます。

現在、全校で「表現力の育成」を目指して授業改善を進めるとともに、強みをより伸ばし、弱みを改善していく取り組みを低学年から取り組んでいます。

（４）家庭や地域へのお願い

本校では学校教育目標を「わたしが創る よりよい学校」と掲げ、「自分たちで考え、計画し、実践する」という流れを大切に教育活動に取り組んでいます。

ご家庭や地域でも、読書や家庭学習を通して子どもたちが夢や目標に向かって主体的に挑戦することを応援していただくことで「学びに向かう力」の育成にご協力をお願いします。また、「ありのままの自分（お子さん）を受け容れる」ことで自己肯定感を高めることにもご協力ください。

錦小学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査結果から

①国語科について

- 【強み】・「なげる」など言葉の意味がはっきりしている漢字を正しく使うこと
・「あなたならどのようにまとめますか。」と問われ、自分の考えを伝えること
- 【弱み】・「きょうぎ」など同音異義語から文意に即した漢字を選択することや、敬語の意味を理解し会話をつなげること等、言葉の意味理解が苦手な傾向がある
・「高山さんの立場で」など相手の立場で思考したり、条件に合わせて返答したりする場面でも、自分の立場で思考してしまう傾向がある

②算数科について

- 【強み】・どの領域も知識・理解を問われる問いの正答率が高く、基礎基本は定着していること
・見取り図の読み取り、角柱の底面と高さの関係など図形の構成要素について理解ができていること
- 【弱み】・一辺が22cmの立方体の体積は導けるが、直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積が導けない等、問われ方が異なると戸惑う傾向がある
・グラフから必要な数値を読み取り答える等、データの活用が苦手な傾向がある

(2) 質問紙調査の結果から

- 【強み】・学びは大切であり、学んだことが社会の中で役立つという意識が高い。
・与えられたことは最後まで取り組む、約束やきまりを守ることへの意識が高い。
- 【弱み】・別の解き方を考え、自分の課題を決め解決方法を考えたり学び方を工夫したりすることが苦手な傾向がある。

(3) 全体を通して

自分の考えを述べる力が着いてきていることは、「作文」や「日記」への取組の成果が出ていると考えます。また、複式授業における「一人学び」「とも学び」の中で、主体的で対話的な学びが習慣化してきた成果であると考えます。一方で、相手の立場に立った思考や問われ方によって戸惑う傾向があるという課題に対して、多様な思考に触れ、自分との見方・考え方の違いに気づき、自分の学びをさらに深めていくことへ意識を向けるよう取り組んでいきます。

(4) 家庭や地域へのお願い

多様な思考に触れる機会として新聞や読書が大切なものになります。昨今、家庭学習の充実も重要な時勢になっております。家庭学習や読書の習慣化に向けて、計画的に時間を使っていけるよう子どもたちの見守りを引き続きよろしくお願いします。特に、取り組んでいる姿を具体的な言葉で褒めてあげてください。

大宮中学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査結果から

①国語科について

- 【強み】・一つの資料から、課題とのつながりを見いだすことができること
 - ・「主語・述語の関係」の基礎的知識は、ほぼ定着していること
- 【弱み】・学習した漢字、文法の知識を日常の言語生活に活かしていないこと
 - ・課題や問題に対して、複数の資料から関連情報を適切に読み取る力が不十分なこと

②数学科について

- 【強み】・基本的な事柄については身についている生徒が多い
 - ・データ処理の分野の問題は、解ける生徒が比較的多い
- 【弱み】・三角形の合同をもとにして、派生する事柄を証明すること
 - ・式やグラフを用いて条件に合うように説明すること

(2) 質問紙調査の結果から

- 【強み】・「自分にはよいところがある」「普段の生活の中で幸せな気持ちになることがよくある」と思う生徒の割合が高い。
 - ・「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」「学級で学校生活をよりよくするために話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」と回答した生徒の割合が高い。
 - ・「画像や動画、音声等を活用することで学習内容がよくわかる」「友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる」と回答した生徒の割合が高い。
- 【弱み】・「将来の夢や目標を持つこと」「新聞を読むこと」についての割合が低い。
 - ・平日の1日あたりのゲーム時間が4時間以上の割合が高い。

(3) 全体を通して

生徒は、心身ともに健康で学校生活の満足度が高いと感じており、日々落ち着いた環境の中で授業に参加できています。また、ICT環境の整備が進み、日常的に一人一台端末を活用することで、その学習効果を十分に認識して授業に臨んでいます。

これからも基礎・基本を重視した授業改善や一人ひとりが認められる仲間づくりに取り組み、地域や社会とかかわり、将来の夢や仕事について考えさせる指導を充実させることで、更なる学力向上に努めていきます。

(4) 家庭や地域へのお願い

学習以外でもスマートフォンや一人一台端末等を使用する機会は増加していますので、正しく安全に利用するための家庭内でのルール等を再確認してください。また、家庭学習の習慣化を図っておりますので、見守りをお願いします。

大宮中学校は、一人ひとりのウェルビーイングの向上を目指して、今後も生徒の可能性やよさを引き出し伸ばしていく取組を継続していきたいと考えておりますので、ご家庭や地域でもご協力をお願いします。

大紀中学校の結果分析と今後の取組について

（１）教科に関する調査結果から

①国語科について

- 【強み】・文章の内容を読み取ったり、示された資料について自分の考えを伝えたりすること
・書く問題を無解答で終わらせず、書こうとする姿勢を持っていること
- 【弱み】・文脈に即した、正しい漢字を書くこと
・文章を論理的に整理して、読んだり書いたりする力が十分定着していないこと

②数学科について

- 【強み】・基礎・基本的な計算をする力がある程度定着していること
・すでにある情報をもとに試行錯誤しながら考え、解答を引き出すことができること
- 【弱み】・データの傾向を読み取ったり、判断の理由を数学的な表現で説明したりすること
・数学的な筋道を立てて考えること

（２）質問紙調査の結果から

- 【強み】・いじめはどんな理由があってもいけないと考える生徒の割合が高い。
・地域や社会をよくするために何かしてみたいと考える生徒の割合が高い。
・毎日朝食をとるなど、基本的な生活習慣が身につけている生徒が多い。
- 【弱み】・学習に対する取り組み方が受け身の傾向にある。
・長い文章を論理的に読みこなす力が、十分に身につけていない。

（３）全体を通して

基本的な生活習慣が確立し規範意識も高く、地域や人の役に立ちたいと思っている生徒の割合が高いです。また、落ち着いた授業態度で学習に取り組むことができおり、学習意欲も大変高いです。しかし、既習事項の定着等に、課題がみられます。今後、全ての授業を通してそれらを育む指導に重点をおいて取り組んでいきたいと考えます。具体的には、基礎基本を大切に、互いの考えがうまく伝わるための工夫をしたり、ＩＣＴ機器を効果的に活用したりして、既習事項の定着をはかっていきます。

（４）家庭や地域へのお願い

家庭学習の時間が少ないことが、大きな課題です。理由として、ＳＮＳ等に費やす時間が長いことが考えられます。スマートフォン等の使用について、ご家庭でルール作り等をしていただければ幸いです。また、自己肯定感を持ち、気持ちのよいあいさつができる生徒が増えています。今後も、ご家庭での励ましや見守りをお願いいたします。